



高麗中学校だより

日和田

令和5年

4月10日発行

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び、心豊かに、たくましく

入学・進級おめでとうございます

本日、45名の新入生を迎え、第77回高麗中学校始業式、入学式を挙行了しました。

昨年度より生徒数が8名増え、7学級127名でのスタートとなります。

本校は「生徒ひとり一人のよさや取り柄を伸ばし奇跡を起こす学校」をミッションに、夢の実現に向けた学びを目指してまいります。

教育活動を充実させるために、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。



入学式校長式辞(抜粋)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学校教育目標は「よく学び心豊かにたくましく」。中学校3年間で、自分のよさや取り柄を伸ばし奇跡を起こしてください。

よさとは、当たり前前のごとを当たり前前のできる力。取り柄とは、懸命の努力によって身に付けた大きな力。奇跡とは、昨日の自分を超越すること、できなかったことができるようになること。

Suicaを開発した椎橋さんは高麗中の卒業生。また、エベレスト山を女性として世界初登頂した田部井さんは、日和田山でトレーニングを重ねていました。努力に裏付けされた奇跡です。

自分を伸ばすのは自分。自ら考え行動する。自律した中学生を目指して前向きに頑張る皆さんを、高麗中職員は全力で応援します。新入生の皆さんの頑張りに期待しています。

ミッションに込めた思い

高麗中ミッションは「ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！」。

生徒ひとり一人が中学校の3年間で「よさや取り柄を伸ばすことで奇跡を起こして欲しい」という思いを込めました。

3年以上も続いているコロナ感染。4月からマスクの着用が個人判断になるなど対応が変わりつつありますが、未だ収束には至っていません。しかし、そんな中でも努力を怠らず、目標や夢の実現に向けて奇跡を起こすミラクルな高麗中生を期待しています。

奇跡を起こすには

まずは夢や目標を決めて、心に強く意識する。「念ずれば花開く」という言葉がありますが、意識しなければ奇跡は起きません。

そして、意識したら自ら考え行動すること。例え小さな積み重ねでも、それが継続すれば奇跡が起きるでしょう。

「無理だと思わないことが一番大切だと思いません。無理だと思ったら終わりです。」大谷翔平



校長大里治泰

高麗の風景 ～学校の日々の様子をお伝えします～

・ミラクル隊長任命！

令和4年度修了式当日、2年生の学級活動での出来事。一人一人が皆に語る場面で、ある生徒が…「これから僕がミラクル！と言いますので、皆さんは僕に続いて高麗中！と言ってください。」…。その話を担任から聞き、思いついたアイデアがミラクル隊長。

翌週部活動に来ていたその生徒に話を聞くと「校長先生の思いを皆に伝えたかった」とのこと。これでミラクル隊長任命決定。4月7日の準備登校で無事任命を終え、早速「ミラクル…！」。令和5年度は益々ミラクルが起きる予感がします。めでたしめでたし！